

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

11. 消化管、肝胆膵の疾患

文献

Shiratori M, Shoji T, Kanazawa M, et al. Effect of rikkunshito on gastric sensorimotor function under distention. *Neurogastroenterology & Motility* 2011; 23: 323-9, e155-6. Pubmed ID: 21175995

1. 目的

六君子湯が胃の収縮と拡張機能に及ぼす影響の評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (cross over) (RCT-cross over)

3. セッティング

東北大学病院

4. 参加者

健康なボランティア 9 名

5. 介入

Arm 1 と Arm 2 はランダムに割付。

Arm 1: 内服薬無しで 2 週間の観察期間の後、胃内圧を測定。その後に 2 週間ツムラ六君子湯エキス顆粒 7.5 g/日 内服した後、胃内圧測定。症例数: 記載なし。

Arm 2: ツムラ六君子湯エキス顆粒 7.5 g/日 を 2 週間内服の後、胃内圧を測定。その後に 2 週間の観察期間において、胃内圧測定。症例数: 記載なし。

6. 主なアウトカム評価項目

ストレス負荷前と負荷後の Gastric barostat による、胃内圧測定結果を評価

7. 主な結果

六君子湯内服時には、非内服時には認められるストレス刺激による胃の体積減少が見られなかった。また、ストレス負荷にかかわらず、上腹部膨満感を感じる圧閾値および痛みを感じる圧閾値については、六君子湯内服時の方が低かった。

8. 結論

六君子湯は、ストレスや不安による胃壁の緊張性変化を緩和できる可能性がある。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

記載なし

11. Abstractor のコメント

本論文では、六君子湯が平常時における過食抑制に役立つ可能性と、ストレス時における食欲減少防止の両面に作用する可能性が示されている。ただ、群分けの症例数が記載されていないことは、残念である。胃内圧測定という客観的な指標を用いて具体的に六君子湯の作用が示されたことは有意義である。

12. Abstractor and date

中田英之 2012.12.31